

Ⅱ. 2. 学術交流・国際研究活動等

○学術交流協定（平成 31 年 3 月 31 日現在）

<言語文化専攻>

大学名	国名	協定締結年月日	期日	授業料相互不徴収規定
オレゴン大学	アメリカ合衆国	2017/3/31	2022/3/30	—
ロシア極東連邦総合大学	ロシア連邦	2017/4/18	2022/4/17	○
ウラジオストク国立経済サービス大学	ロシア連邦	2015/12/18	2020/12/27	—
トゥルク大学	フィンランド共和国	1998/11/17	—	—
ヴィータウタス・マグナス大学人文学部	リトアニア共和国	2012/10/25	2022/10/24	—

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

大学名	国名	協定締結年月日	期日	授業料相互不徴収規定
ケンタッキー大学文理カレッジ	アメリカ合衆国	2014/6/10	2019/6/9	—
ジョージメイソン大学 School of Policy, Government, and International Affairs	アメリカ合衆国	2014/9/29	2019/9/28	—
ヘブライ大学 Faculty of Humanities	イスラエル	2014/10/28	2019/10/27	—
テヘラン大学	イラン・イスラム共和国	2017/5/2	2022/5/1	—
シーラーズ大学	イラン・イスラム共和国	2018/1/10	2023/1/9	—
イスラーム大百科事典編纂所	イラン・イスラム共和国	2018/1/21	2023/1/20	—
デリー大学 人文学研究科ヒンディー語専攻、社会科学研究科東アジア学専攻	インド	2015/10/27	2020/10/26	○
ジャワハルラーール・ネルー大学 言語文学文化研究科	インド	2014/7/3	2019/7/2	○
ティラク・マハーラーシュトラ大学	インド	2014/7/22	2019/7/21	○
アル・ラニーリ・国立イスラーム大学 法学部	インドネシア共和国	2018/9/12	2023/9/11	○
ウダヤナ大学 文学部、言語学研究科、文化研究科	インドネシア共和国	2015/8/26	2020/8/25	○

スナン・カリジャガ国立イスラーム大学ジョグジャカルタ校 大学院、法学部	インドネシア共和国	2015/9/15	2020/9/14	—
アンダラス大学 人文学部	インドネシア共和国	2016/8/1	2021/7/31	○
タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学言語学院	ウクライナ	2018/11/30	2023/11/29	○
サマルカンド国立大学	ウズベキスタン	2017/10/4	2022/10/3	○
ロンドン大学 東洋アフリカ研究学院	英国	2007/10/1	2019/9/30	○
アスワン大学 言語学部	エジプト・アラブ共和国	2016/7/11	2021/7/10	○
カイロ大学 文学部	エジプト・アラブ共和国	2016/9/18	2021/9/17	○
ストックホルム大学 アジア・中東・トルコ学部	スウェーデン王国	2017/4/3	2022/4/2	○
ベオグラード大学 文献学部	セルビア	2015/6/30	2020/6/29	—
コーンケン大学 人文社会学部	タイ王国	2017/3/23	2022/3/22	○
シラパコーン大学 文学部	タイ王国	2017/3/15	2022/3/14	○
チュラロンコーン大学 アジア研究所	タイ王国	2018/4/3	2023/4/2	○
ランシット大学	タイ王国	2013/9/12	2023/9/11	○
国立高雄第一科技大学 外語学部	台湾	2015/4/30	2020/4/29	○
華中師範大学 国際文化交流学院、外国語学院、言語と言語教育研究センター	中華人民共和国	2010/3/4	2020/3/3	○
深圳大学 外国語学院	中華人民共和国	2007/10/1	2019/9/30	○
上海外国語大学 日本文化経済学院、国際文化交流学院	中華人民共和国	2013/7/25	2023/7/24	○
大連理工大学 外国語学院・国際教育学院	中華人民共和国	2017/7/5	2022/7/4	○
香港大学 人文学部	香港	2015/1/30	2020/1/29	—
南デンマーク大学 人文学部	デンマーク王国	2015/8/21	2020/8/20	○
ハイデルベルグ大学日本学研究所	ドイツ連邦共和国	大学間交流協定に基づく部局間学生交流覚書締結		○
フランクフルト応用科学大学	ドイツ連邦共和国	2016/11/1	2021/10/31	○
ウェリントン・ヴィクトリア大学	ニュージーランド	2017/10/20	2022/10/19	○
ベルゲン大学 文学部	ノルウェー王国	2016/2/24	2021/2/23	○
ガヴァメント・カレッジ大学	パキスタン・イスラム共和国	2013/1/29	2023/5/5	—
パンジャブ大学 オリエンタルカレッジ	パキスタン・イスラム共和国	2014/5/30	2019/5/29	—

カーロリ・ガーシュパー ルカルビン派大学 文学部	ハンガリー共和国	2017/10/5	2022/10/4	○
セゲド大学 文学部	ハンガリー共和国	2015/4/29	2020/4/28	○
フルミネンセ連邦大学	ブラジル	2017/1/26	2022/1/25	○
ソフィア大学	ブルガリア共和国	2007/10/1	2021/7/27	—
ハノイ大学	ベトナム社会主義共和国	2015/4/27	2020/4/26	○
ハノイ師範大学	ベトナム社会主義共和国	2015/5/5	2020/5/4	○
ハロン大学	ベトナム社会主義共和国	2018/4/19	2023/4/18	○
ホーチミン市師範大学	ベトナム社会主義共和国	2019/1/18	2024/1/17	○
ホーンバーン国際大学	ベトナム社会主義共和国	2018/3/6	2023/3/5	○
ベトナム社会科学アカデミー 言語学院	ベトナム社会主義共和国	2014/9/22	2019/9/21	—
ベトナム辞書学センター	ベトナム社会主義共和国	2014/9/23	2019/9/22	—
ヤギェロン大学 文献学部	ポーランド共和国	2007/10/1	2021/10/2	—
ブカレスト大学 外国語外国 文学部	ルーマニア	2007/10/1	2019/9/30	—
ノボシビルスク国立大学 人文学部	ロシア連邦	2015/4/28	2020/4/27	—
ウラル連邦大学	ロシア連邦	2016/9/28	2021/9/27	○
ハカス言語・文学・歴史研究 所	ロシア連邦	2013/3/18	2023/3/17	—
モスクワ言語大学	ロシア連邦	2009/8/14	2019/8/13	○

○連携協定

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

(締結日：平成 21 年 11 月 16 日、有効期間：平成 32 年 3 月 31 日)

○外国人研究者等受入れ状況

<言語文化専攻> 平成 30 (2018) 年 4 月 1 日以降受入れ

国・地域	所属	職名	内容	渡航費	受入教員	受入期間 (開始)	受入期間 (終了)
------	----	----	----	-----	------	--------------	--------------

ドイツ	ライプニッツ理論言語学研究所	副研究所長、プロジェクトグループリーダー	言語と論理的思考の発達に関する研究	大阪大学	宮本陽一	2018. 5. 17	2019. 3. 31
-----	----------------	----------------------	-------------------	------	------	-------------	-------------

＜言語社会専攻／日本語・日本文化専攻＞平成30（2018）年4月1日以降受入れ

国・地域	所属	職名	内容	渡航費	受入教員	来訪期間（開始）	来訪期間（終了）
パキスタン・イスラム共和国	ハーネーワール大学	常勤講師	ウルドゥー語の共通語化に関する研究	パキスタン・パンジャーブ政府高等教育局	山根 聡	2018. 10. 15	2019. 7. 25
中国	広州大学	講師	中日青少年の素質教育の比較研究	日本学術振興会	古川 裕	2017. 9. 1	2018. 8. 31
米国	コロンビア大学	Assistant Professor	20世紀日本におけるし尿処理システムと有機物循環の変容	日本学術振興会	深尾 葉子	2019. 3. 15	2020. 3. 14

○国際研究活動

＜言語文化専攻＞

大阪大学国際共同研究促進プログラム（タイプA）：言語と論理的思考の発達に関する研究（04/2018－03/2021）	
研究科教員名	宮本 陽一
開催日	・ライプニッツ理論言語学研究所・チュービンゲン大学共同研究メンバー来日（07/2018（2名）、10/2018（1名）、02/2019（2名）、03/2019（1名）） ・大阪大学共同研究メンバー訪独（03/25/2019－03/31/2019）
開催場所	・言語文化研究科（豊中）（07/2018, 10/2018, 02/2019, 03/2019） ・ライプニッツ理論言語学研究所（ベルリン）（03/2019）
概要	実験語用論の側面に焦点を当てた「量化」に関する国際共同研究である。第1回ワークショップを2018年7月に言語文化研究科（豊中）にて、第2回ワークショップを2019年3月にライプニッツ理論言語学研究所にて開催した。また、期間中、独側共同研究メンバーによる実験語用論に関する講義、打ち合わせを通して共同研究プロジェクトを複数開始し

	た。さらに、研究成果の一部は、2018年10月に開催された Workshop on Altaic Formal Linguistics 14 (Massachusetts Institute of Technology) にて公表した。
--	--

日本学術振興会二国間交流事業・ドイツとの共同研究（相手側助成機関 DAAD）	
研究科教員名	田畑 智司
開催日	平成 29 年年度，平成 30 年度
開催場所	大阪大学，ヴュルツブルク大学
概要	本研究科とヴュルツブルク大学各々のデジタルヒューマニティーズ研究班による共同研究。計量言語学的アプローチによって文学テキストにおける complexity の問題に光を当てる取組みであり，英・独・仏・西語，日本語，中国語で書かれた文学作品コーパス，および共観福音書を対象とする多言語横断研究でもある。平成 30 年度は，4 月にドイツチームが来阪，また 9 月に阪大グループの 5 名がドイツに赴き，ミーティングやワークショップを実施した他，ビデオ会議システムを使った研究会を 10 回以上実施した。

Psychology of Language Learning (PLL3)	
研究科教員名	西田 理恵子
開催日	平成 30 年 6 月 7 日～ 平成 30 年 6 月 10 日
開催場所	早稲田大学
概要	2019 年 6 月 7 日～6 月 10 日にかけて、Psychology of Language Learning (PLL3)国際大会が早稲田大学にて開催された。“Stretching Boundaries”と題された本大会には、国内、海外は 30 か国から約 400 名の研究者、教育関係者、学生が集まって、本研究分野ではこれまでにない規模での国際大会を実施した。本国際学会において基盤研究 B に関わる招聘シンポジウム「The psychology of CLIL and EMI: A comparative study of Spain, Austria, Japan and USA」 スペイン、オーストリア、アメリカの研究者と共に、CLIL と EMI に関する国家間比較を行っている。

オープン・レクチャー：‘What’s New/Niu about the New Zealand Poet Laureate?’	
研究科教員名	小杉 世

開催日	平成 30 年 12 月 10 日
開催場所	大阪大学豊中キャンパス総合図書館 6 階ホール
概要	日本英文学会関西支部海外研究者招聘後援事業の助成を得て、オークランド大学准教授・ニュージーランド桂冠詩人の Dr. Selina Tusitala Marsh を招聘し、大阪大学大学院言語文化研究科共同研究プロジェクト Cultural Formation Studies の主催で、オープン・レクチャーを開催した。学部生、院生など 42 名の参加があった。

大阪大学 21 世紀懐徳堂ラボ・カフェ（講演会）： 「杖 (トコトコ) の物語—詩と先住民の視点から環境について考える」	
研究科教員名	小杉 世
開催日	平成 30 年 12 月 11 日
開催場所	アートエリア B 1
概要	日本英文学会関西支部海外研究者招聘後援事業の助成を得て、オークランド大学准教授・ニュージーランド桂冠詩人の Dr. Selina Tusitala Marsh を招聘し、大阪大学大学院言語文化研究科共同研究プロジェクト Cultural Formation Studies の主催で、21 世紀懐徳堂ラボ・カフェ講演会を開催した。講演の英語原題は‘Tokotoko Tales: A Poetically Indigenous Environmentalism’である。学内外の研究者・大学院生・学部生、詩人、一般人など、約 30 名が参加した。

国際学術誌、Revue des Amis de Ronsard, XXX の刊行	
研究科教員名	岩根 久、林 千宏
開催日	平成 30 年 8 月 30 日（出版日）
開催場所	
概要	アメリカ、カナダ、韓国、スイス、日本、フランスの研究者と協力し、国際学術誌、Revue des Amis de Ronsard, XXX を刊行。出版にあたってはフランスの公的機関、Centre National du Livre から助成金を獲得した。

<言語社会専攻／日本語・日本文化専攻>

The 2 nd International Symposium of Silk Road Academic Studies	
研究科教員名	Dirik Seval

開催日	平成 30 年 9 月 21 日
開催場所	Nevsehir Haci Bektas Veli University
概要	Çanakkale İli Ayvacık Yöresi Ağızlarında Bilgi Kipliği. (Epistemic Modality in the Dialect of Ayvacık District in Canakkale)

UITEMATE 2018 in INDONESIA	
研究科教員名	永原 順子
開催日	平成 30 年 10 月 27 日～11 月 3 日
開催場所	BASARNAS (Jakarta, Bali)、Batam View Beach hotel、市内プールほか、Indonesia
概要	<p>UITEMATE は、「着衣状態で水難事故に遭遇したとき浮いた状態で救助を待つ」という自己救助法である。水難学会は、この救助法を東南アジア諸国に普及することに尽力している。</p> <p>今回の活動では、前回講習会（2014 年 11 月）後の、インドネシアにおける普及状況調査とフォローアップ、初の女性限定講習会の開催、UITEMATE 普及活動に寄与するための怪談等の逸話の調査、国際ワークショップ開催による各国情報共有とレベルアップ、等を行った。</p>

UITEMATE 2019 in THAILAND	
研究科教員名	永原 順子
開催日	平成 31 年 3 月 5 日～3 月 9 日
開催場所	Nakhon Ratchasima Rajabhat University、Surin、Kanchanaburi、Indonesia
概要	<p>UITEMATE は、「着衣状態で水難事故に遭遇したとき浮いた状態で救助を待つ」という自己救助法である。水難学会は、この救助法を東南アジア諸国に普及することに尽力している。</p> <p>Nakhon Ratchasima Rajabhat University、Surin 県内の病院、保育園、災害救助ボランティア団体における、水難防止教育の視察や意見交換会等を行った。各所で、UITEMATE 普及活動に寄与するための怪談等の逸話の調査も実施した。</p>

STINT ワークショップ ”Japanese Studies in Sweden, Swedish Studies in Japan: Collaborative research on limits and possibilities of Area Studies in the 21 st Century”	
研究科教員名	高橋美恵子（代表）、古谷大輔、當野能之

開催日	平成 30 年 7 月 10 日、9 月 11 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス（7 月）、ストックホルム大学（9 月）
概要	ストックホルム大学日本学科との国際共同研究プロジェクトがスウェーデン研究・高等教育国際協力財団（STINT）の日本・スウェーデン外交関係樹立 150 周年特別助成金を受け、スウェーデンにおける日本／日本語研究・教育、日本におけるスウェーデン／スウェーデン語研究・教育についての知見を深め、学際的な地域研究・外国研究の限界と可能性について検討すべく、両校で国際ワークショップを開催した。

International Symposium: Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2)“Rethinking the Process of Islamization”	
研究科教員名	菅原由美
開催日	平成 30 年 6 月 30 日～7 月 1 日
開催場所	大阪大学国際公共政策研究科会議室
概要	ジャワにおけるイスラーム化は 14 世紀末に始まり、スーフィーズムの広まりによって進んだとこれまで説明されてきたが、実際には史料の限界等の理由から十分には議論されてはこなかった。仏教・ヒンドゥー教王国の歴史が古く、その文化が深く根付いていたジャワで、なぜどのようにしてイスラーム化が起こったのかを、16～19 世紀のジャワ語文書に基づいて分析し、議論をおこなった。科研基盤（B）「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」16H05662、AA 研共同利用・共同研究課題 http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/projects/jrp/jrp224

共同研究「ヒンディー語方言と文学」	
研究科教員名	長崎広子
開催日	平成 30 年 12 月
開催場所	箕面キャンパス/中之島センター
概要	クロスアポイントメント制度によるワルシャワ大学 Alexandra Turek 博士との「ヒンディー語の方言と文学」の共同研究。ヒンディー語のラージャスターニー方言と文学を Turek 博士が担当し、長崎がブラジ・バーシャー方言と文学を担当し、両言語のサンプルテキストにグロス付与した。12 月 16 日に「ヒンディー語方言と文学」研究会を大阪大学中之島

	センターで開催し、研究発表と質疑応答を行った。
--	-------------------------

講演 The Historical development of Hindi metrical rhythm	
研究科教員名	長崎広子
開催日	平成 31 年 2 月 19 日
開催場所	The University of Chicago, Center in Delhi
概要	The Historical development of Hindi metrical rhythm の題で、シカゴ大学デリーセンターで講演した。

Einar Korpus 講師講演会	
研究科教員名	當野能之
開催日	平成 29 年 5 月 8 日
開催場所	大阪大学箕面キャンパス A208
概要	大阪大学と学術交流協定関係にある Göteborg 大学から Einar Korpus 講師が迎え、氏の専門である「広告と広告のスウェーデン語」についての講演会を開催した。